

英国の事業所向け RHI（再生可能熱インセンティブ）の最新情報

先にロンドン便り その61 でレポートしました英国の住宅向け RHI の最新情報に続いて2011年11月から2015年4月までの事業所向け RHI の最新情報が DECC(エネルギー気候変動省) のホームページに掲載されていました。以下、概要です。

表1. は最新の事業所向け RHI インセンティブ表です。インセンティブの金額は前回と同じですが、円安が進んだので円換算値は約15%高くなっています。200KW までのバイオマスボイラーは15.3円/Kwh、太陽熱温水システムの16.4円/Kwhと随分高くなったと感じます。

表1. 事業所向け RHI インセンティブ表

機器名称	再生可能エネルギーの種類	容量	インセンティブ	インセンティブ
		KW	ペンス/kWh	円/kWh
バイオマスボイラー 小	固形バイオマス燃料・固形ゴミ	200kW まで	一列 8.3	15.3
			並列 2.1	3.9
バイオマスボイラー 中	固形バイオマス燃料・固形ゴミ	200kW～1MW	一列 5.1	9.4
			並列 2.1	3.9
バイオマスボイラー 大	固形バイオマス燃料・固形ゴミ	1MW 以上	1.0	1.8
ヒートポンプ 小	空気熱	100KW まで	4.7	8.7
ヒートポンプ 大		100KW 以上	3.4	6.3
太陽熱温水システム	太陽熱	200kW まで	8.9	16.4
メタン注入ガス化ボイラー	バイオメタン	200kW まで	7.1	13.1

出所：Gov.UK 為替レート：¥185/£

表2. は2011年11月から2015年4月までの42ヶ月分の事業所向け RHI 認定件数及び発熱の実態を表しています。RHI 認定件数ではリゾートホテルやペンション等の宿泊施設が最も多く、一年中忙しい業種なので費用対効果の大きい RHI を選択したものと思われます。二番目は農・畜産物生産で、認定設備の発熱容量 (MW) では図1. に表されている様に508MWと最大でバイオマス燃料が豊富にあり、また設備の据付スペースも十分確保できる利点を多に活用しているものと思われます。三番目の木材加工と五番目の林業を併せると発熱容量は85MWとなりここでも豊富な木質バイオマスを利用されている様です。これら上位7業種で、事業所向け RHI 認定設備全体の発熱容量 (MW) の構成比では78%を占めています。

表 2. 事業所向け RHI の業種別認定件数及び発熱の実態 (2011/4 ~ 2015/4)

業種	RHI 認定件数	発熱容量 (MW)	発熱量(GWh)	平均発熱容量 (KW/件)
農・畜産物生産	2,693	508	986	189
宿泊施設	3,182	347	478	109
木材加工	231	139	469	601
教育施設	392	81	98	207
小売業	232	63	169	272
森林業	251	46	71	132
食品加工	179	40	194	223
その他	2,360	341	760	144
合計	9,520	1,565	3,225	164

図 1. 業種別の RHI 認定設備の発熱容量構成比 (%)

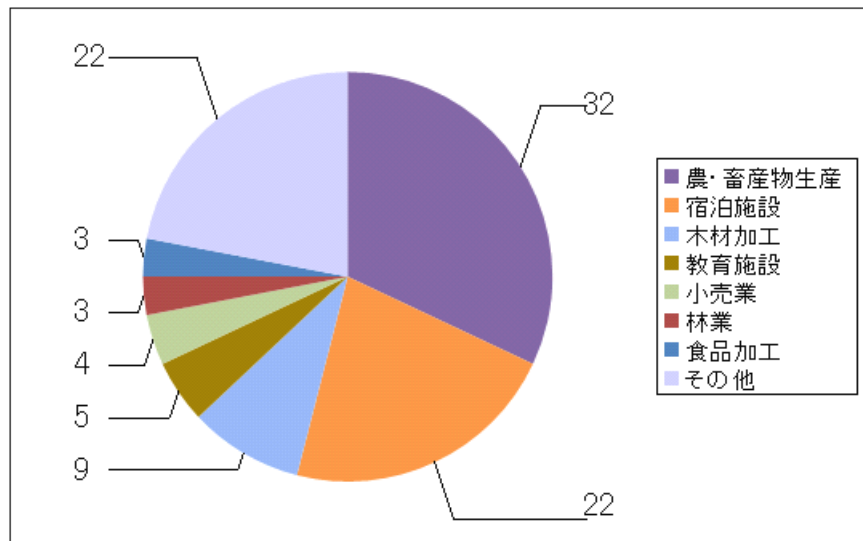


図 2. の自治体別の事業所向け RHI 関連設備の設置はロンドンやバーミンガム、マンチェスター等の都市圏を除いて地方に満遍なく設置されている様です。特に農業、畜産、林業やリゾート地が沢山あり宿泊業が盛んなスコットランド、北イングランド、南西イングランド、ウェールズが圧倒的に多いのが読み取れます。

図 2. 自治体別の事業所向け RHI 関連施設の設置台数

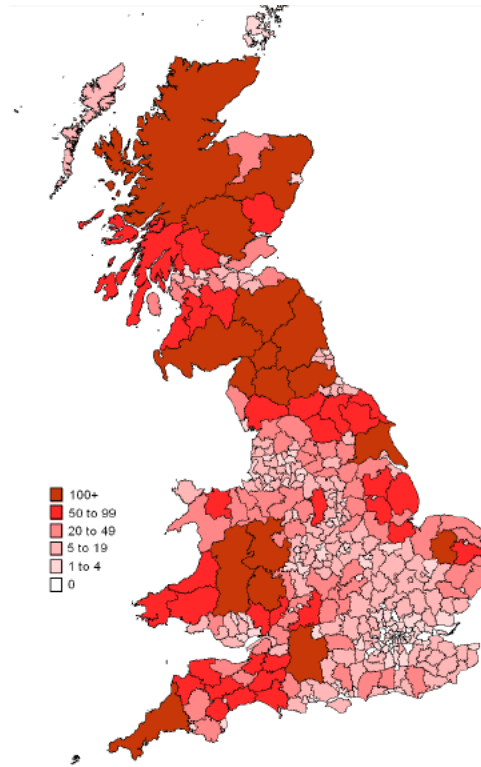
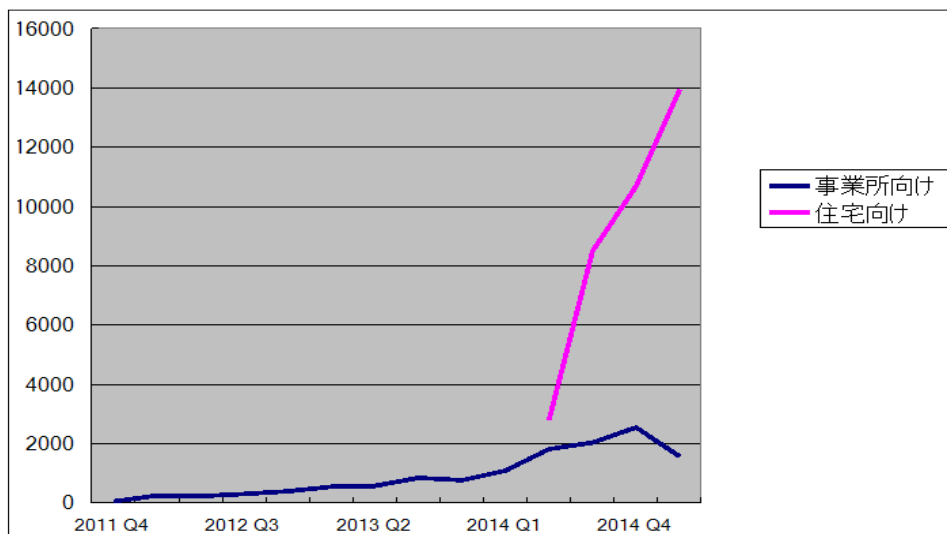


図 3. RHI 制度の申し込み件数の推移



英国の RHI 制度は事業所向けが 2011 年 11 月にスタートし 2015 年 4 月までの 42 ヶ月間で累計申し込み件数は 13,111 件、認定件数は 9,520 件となり図 3. の様に着実に進捗しています。一方の住宅向けは 2014 年 4 月にスタートして、本年 4 月までの 13 ヶ月の累計申し込み件数は 40,318 件、認定件数は 32,962 件と急増しています。これは、担当省庁である DECC の地道な RHI 制度の PR 作戦が功を奏している事と、これを受け入れる多くの事業所や住宅所有者の関心の高さが伺えます。日本も再生可能エネルギーを増やす一つの方法として再生可能熱エネルギーに対するインセンティブも十分に考察に値するはずです。英国で受け入れられ始めた RHI 制度が日本で受け入れられることを願っています。(了)